

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の特徴	H24年5月に開設。1階に小規模、サテライト型特養、地域交流スペース、キッズルームが併設されている。地域の方も気軽に利用できるスペースがあり、フリーカフェを行なっている。地域の中の施設としての特性を活かせるよう、利用者の想い、希望、ご家族や多職種との連携を図りながら、生活が継続できるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能型居宅介護川崎	管理者	中野 晃彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	3人	1人	1人	1人	1人	2人	0	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●事前訪問時には介護職員や、医療的支援も必要な方には看護職員ができる限り同行し、複数の視点から情報収集に努め、初回利用から安心して利用していただけるように取り組む。 ●日頃の通い・訪問・送迎時や、ご家族へのアンケートから、ご利用者・ご家族の意見や要望を聞き取り、反映していくことでサービスの質の向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前訪問時に、介護・看護職員の同行は業務的に行くことはできなかったが、ケアマネからの情報を細かくタブレットに入れ、情報の共有・対応についての検討を行い、利用開始前から実際にお宅にお邪魔して顔なじみの関係を作っておくことで、初回から安心してご利用いただけるように努めた。 ●ご利用者様・ご家族様から頂いた意見や要望は、情報共有・検討を行い、反映できるように努めた。会話の中に隠れた思いに寄り添えるように、日々の何気ない会話を大切に対応した。また、ご家族から利用中の様子が見たいと要望があり、文化祭の作品展示に合わせて来所していただき、センターでの様子・過ごし方を実際に見ていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の人員的なこともありますが、サービス担当者会議などの職員同行には難しい面があると思います。「限られた人しか同行できない」はこの事業所でも発生することと感じます。 ●本人の希望を汲み取ろうと日々作業していることが理解できた。自分の意思をうまく伝えられない人から聞き取ろうと気持ちに寄り添おうとしている職員さん達のことがよくわかります。 ●できていないことが明確に意見として出ています。今後の改善に繋げていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タブレットを有効活用し、利用開始前から情報の共有、対応についての検討を行い、初回利用から安心して利用していただけるように取り組む。また、昨年度と同様に初回利用前から顔なじみの関係を作れるように努める。 ●日頃の通い・訪問・送迎時や、ご家族へのアンケートから、ご利用者・ご家族の意見や要望を聞き取り、反映していくことでサービスの質の向上に繋げる。

B. 事業所のしつらえ・環境

- 中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用していただけるよう季節に応じた植物を植える(設置する)。
- センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し創作品の展示を継続する。

- 今年度も中庭のスペースにベンチを設置し、ヒマワリなど季節に応じた植物を植えた。
- 玄関や地域交流スペースに、季節を感じられる飾りや創作品の展示を継続し、四季を感じていただけるように努めた。

- 玄関のスペースは限られているので「入りやすいか？」と聞かれたら、やや入りにくい。ただ、チャイムを押すと職員がすぐに対応されている。
- 事業所の共有部分もいつもきれいで清潔ですし、楽しそうな飾りつけになっていて感心します。
- いつも会議で事業所に伺っておりますが、玄関が狭く感じます。利用者の方も同じ場所から出入りしているのでしょうか？

- 中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用していただけるよう季節に応じた植物を植える(設置する)。また、玄関スペースも同様にプランターや看板を設置するなどの工夫を行い、入りやすい空間作りに努める。
- センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペース、フロアの空間を活用し創作品の展示を継続する。

C. 事業所と地域のかかわり

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に対応した地域啓発活動「まちなね」を行う。(紙上まちなねとして回覧板での情報発信も含めて検討する)
- 小・中学校への地域啓発活動の実施、コミュニティセンターにて福祉講座の開催や広報誌を置かせていただくなど、一人でも多くの方に知っていただくきっかけを作る。
- 広報誌を作成する際に、センターの情報を分かりやすく記載した文章や興味を持っていただけるような内容を載せてPRに努める(年6回配布)。

- センターでの地域啓発活動「まちなね」は園の方針により実施することはできなかったが、コミセン分館にて「ふれあいサロン」として福祉講座の開催など、地域啓発活動が実施できた(5/29、6/26、9/18実施)。
- 今年度から川崎コミセン分館様のご協力のもと、福祉講座の開催や、広報誌を置かせていただくことが実施できた。また、小中学校への地域啓発活動については、小学校は令和7年3月に予定中。中学校はカリキュラムが変わり、出向いての地域啓発活動が実施できなかったが、職業体験の場として提供し交流を継続することができた(7/18、19実施)。
- 広報誌には、センターでの行事や災害訓練時などの様子の写真の他に、センターの情報や脳トレの問題を載せ、少しでも興味を持っていただけるように努めた。

- 地域に向けて広報活動を積極的に行っていると思いました。
- 事業所が地域の方に知られているかについて、恐らくそこに施設があると知っている方が多いと思いますが、そこにあるとわかっていても具体的には理解されていない人が多いと思います。
- 事業所を身近に感じることで、地域から事業所への発信もしやすくなると思います。
- 夏の子ども神輿は町内皆楽しみにしているイベントです。神輿の出発や準備の場所なっていることを町内の人達はほとんど知らないと思います。イベント後もよいので回覧板にサポセンの駐車場とわかるスナップ写真のコピー等あるとよいのではないかと。
- 川崎6丁目の回覧板に「まちなね」は入っていましたでしょうか？

- 小・中学校への地域啓発活動の実施、コミュニティセンターにて福祉講座の開催や広報誌を置かせていただくなど、一人でも多くの方に知っていただくきっかけを作る。
- 広報誌を作成する際に、センターの情報を分かりやすく記載した文章や興味を持っていただけるような内容を載せてPRに努める(年6回配布)。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティセンターでの各種行事(ふれあいサロン等)、センターでの「まちなね」や季節の行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行うことを今年度も継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミセンでのふれあいサロンには、毎回数名のご利用者様にも参加していただくことができた。しかし、その他の行事には職員を含め参加できなかった。 ●今年度も、外出ドライブ(花見)や花の苗植えなど、感染対策を徹底した上でご利用者様に楽しんでいただけるよう計画し可能な限り実行することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染防止対策を実施しながらも、ボランティアの受け入れや町内との関わりなどが行われており、できる範囲で地域交流や活動に取り組まれていると思います。 ●利用者様が満足されていることがアンケートからも確認できました。 ●地域に出向くといっても、地域自体にあまりイベントごとが無くなってきている。各通り毎の清掃活動だったり、夜道のパトロール等は行っているが、なかなか一緒にできるものは無いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティセンターでの各種行事(ふれあいサロン等)、センターでの季節の行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、可能な範囲で参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行うことを今年度も継続する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度も専門職の方に運営推進委員として参加していただくことができ、多方面からの情報の収集・交換が行え、センターとしての役割を果たすことができた。 ●事業所運営に対しての提案や意見はなかったが、今後も意見を頂く機会があれば、事業所運営に活かせるよう検討し実施していく。その内容は、運営推進会議にて報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の前にこのファイルや資料でこと細かな対応がわかるので、資料作成も大変だと思うが続けて下さい。 ●運営推進会議は他職種からの意見、地域からの意見が出しやすく、話し合いも有意義なものであると感じています。 ●毎回メンバーも揃い、前向きな会議と思っています。各専門の方々が参加しているので、ご意見を聞けて参考になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加していただき、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。

F. 事業所の
防災・災害対策

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員会の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。

●災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用していただけることを、回覧に載せ地域の方へも情報発信する。

●今年度も園の感染対策の方針により、運営推進委員会の方々に参加していただくことはできなかった。そのため、訓練の内容や様子は、運営推進会議時に報告し評価を頂いた。

●地域のクリーン作戦には参加できたが、その他の行事には参加できなかった。

●一時的な福祉避難所としての活用については、今年度初回の広報誌にて情報発信を行った。

●防災訓練を見学できるとよい(どのような動きで利用者様を避難させるかなど見てみたい)。

●一時的な避難所としてのみ頼りになると思う。備品の用意をしてくれるとありがたい。

●防災訓練の様子は運営推進会議で報告を受けています。併せて、災害についての対応、対策等の説明もありました。

●地域への発信もされており、何かあった時に頼りになると事業所と認識されていると思います。

●火災等の消火訓練は写真で見たことはあるが、風水害、地震等の防災計画はよくわからない。

●すぐに動けない方々を安全に移動させるのは手順も必要でしょうし人手も必要。地域との連携があるとよいのではないのでしょうか。

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員会の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●災害時には、一時的な避難所として地域の必要な方に活用していただけることを、広報誌に載せ地域の方へも情報発信する。